

新たな可能性をプラスし、輝く未来へ。



2025年3月期 第2四半期 決算説明会 (2024年11月11日)

代表取締役 社長執行役員 小林 和也

本日の内容

1. 第2四半期連結決算の概要
2. 2025年3月期 連結業績予想
3. 中期経営計画の進捗状況
4. トピックス

1. 第2四半期連結決算の概要

第2四半期連結決算 ハイライト

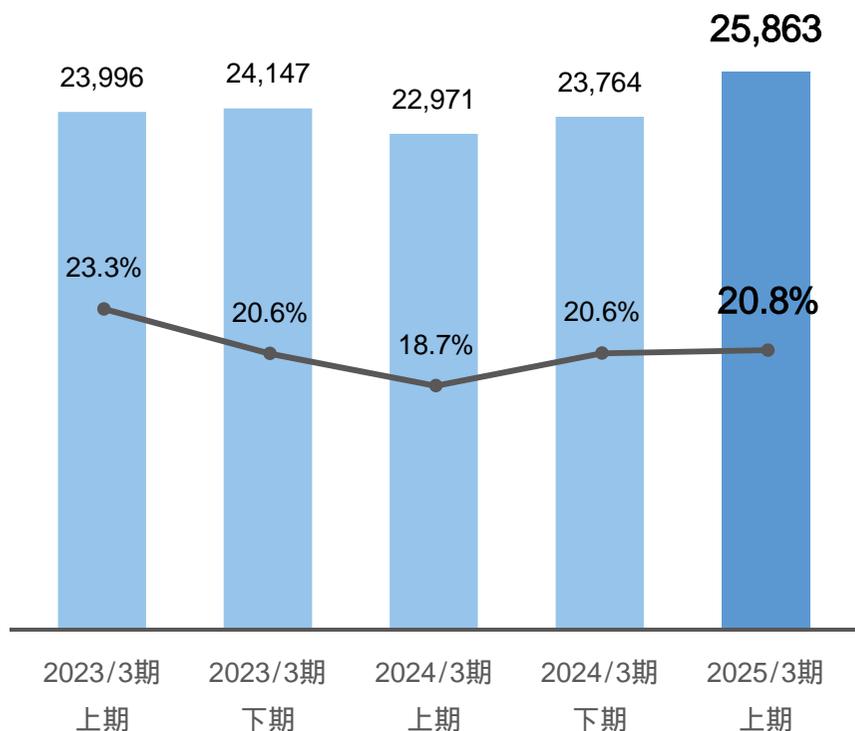
POINT 半導体分野が好調に推移し、
半期ベースで過去最高の売上高

POINT 経常利益も期初予想を上回り、
前半期比で8.9%伸長

売上高 (半期)

前半期比
+8.8%

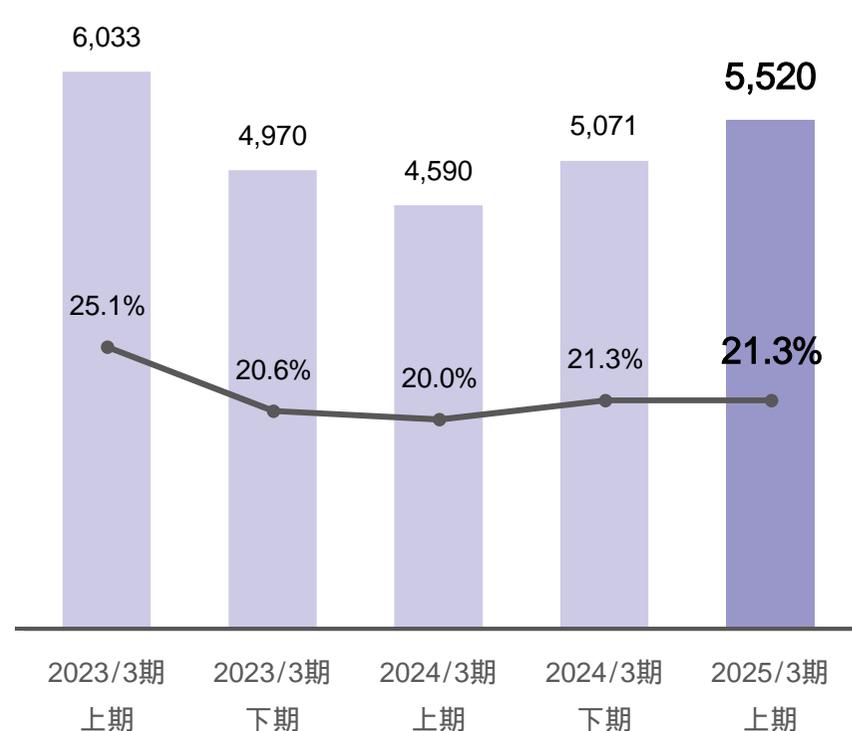
■ 売上高(百万円)
● 営業利益率



経常利益 (半期)

前半期比
+8.9%

■ 経常利益(百万円)
● 経常利益率



2025年3月期 第2四半期連結決算の概要

- 半導体分野の受注増に伴い生産能力を段階的に引き上げており、売上高は前年同期比12.6%増
- 経常利益は、利益率の高い半導体分野の売上増加などにより、前年同期比20.3%増

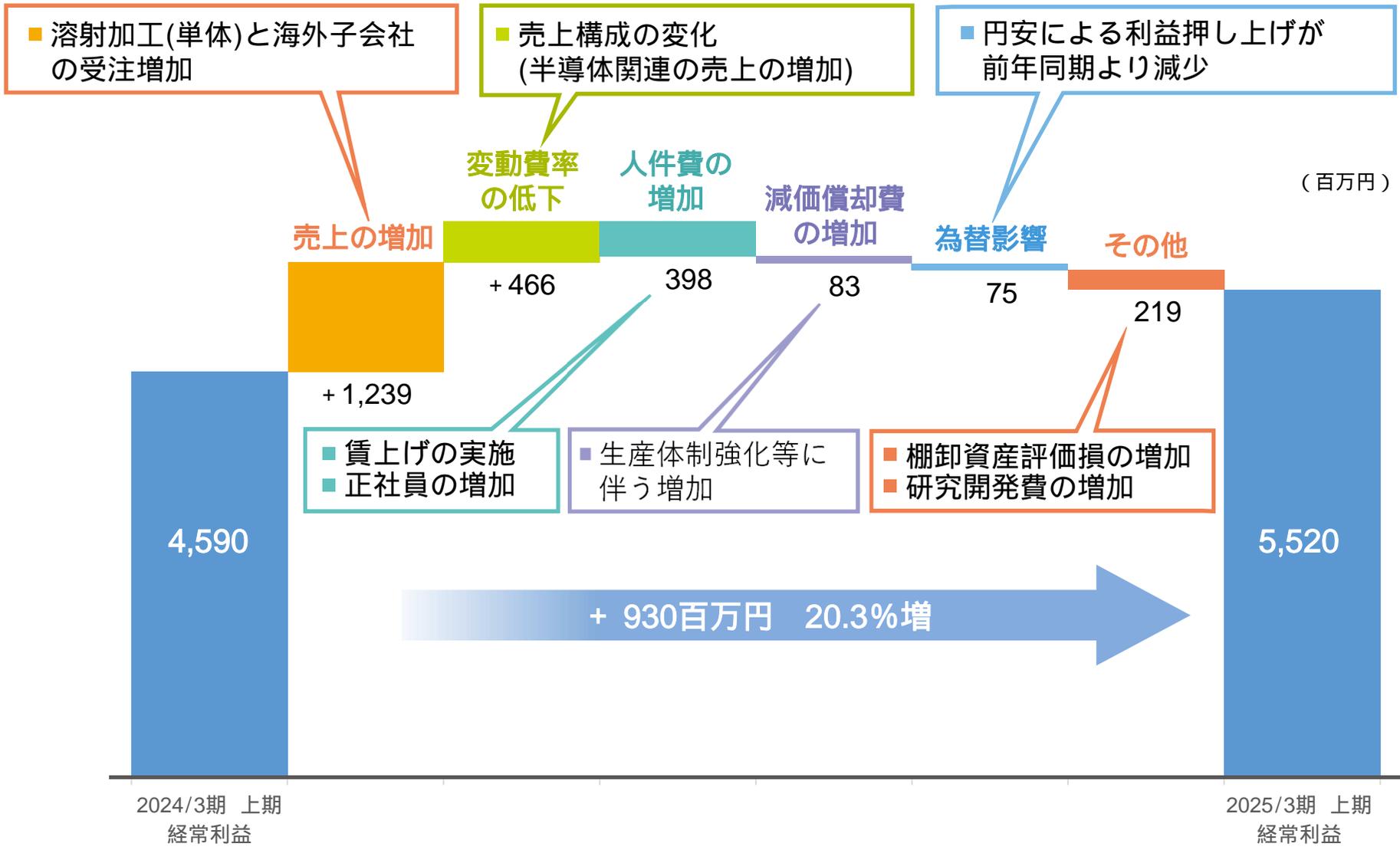
(百万円)	2024/3期 上期		2025/3期 上期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	22,971	100.0%	25,863	100.0%	2,891	12.6%
営業利益	4,295	18.7%	5,383	20.8%	1,087	25.3%
経常利益	4,590	20.0%	5,520	21.3%	930	20.3%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,985	13.0%	3,556	13.8%	570	19.1%
1株当たり中間純利益 (EPS)	49.42円	—	59.83円	—	10.41円	—

2025年3月期 第2四半期売上高 (分野別)

- 最大セグメントの溶射加工(単体)は、すべての分野が好調に推移し、前年同期比15.4%増
- その他表面処理加工は、農業機械部品向けで顧客の在庫調整があり減収
- 海外子会社は、半導体関連を中心に好調に推移し、前年同期比13.7%増

(百万円)	2024/3期 上期		2025/3期 上期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	22,971	100.0%	25,863	100.0%	2,891	12.6%
溶射加工(単体)	16,748	72.9%	19,325	74.7%	2,577	15.4%
半導体・F P D	9,737	42.4%	11,395	44.1%	1,657	17.0%
産業機械	2,224	9.7%	2,370	9.2%	145	6.5%
鉄鋼	1,746	7.6%	2,029	7.8%	283	16.2%
その他	3,039	13.2%	3,530	13.6%	490	16.1%
その他表面処理加工	1,515	6.6%	1,381	5.4%	134	-8.9%
国内子会社	1,230	5.4%	1,191	4.6%	38	-3.1%
海外子会社	3,422	14.9%	3,890	15.0%	467	13.7%
受取ロイヤリティー等	54	0.2%	73	0.3%	19	35.2%

前年同期比 経常利益 増減要因分析

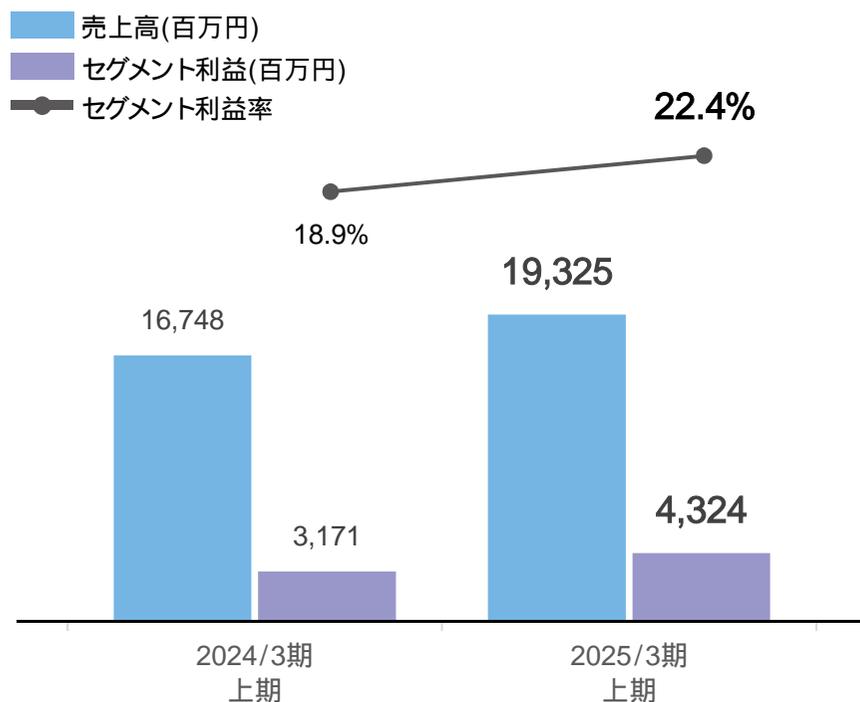


第2四半期連結決算 セグメント別

溶射加工(単体)

半導体・FPD分野をはじめ、産業機械、鉄鋼、その他の各分野が好調に推移し、増収増益

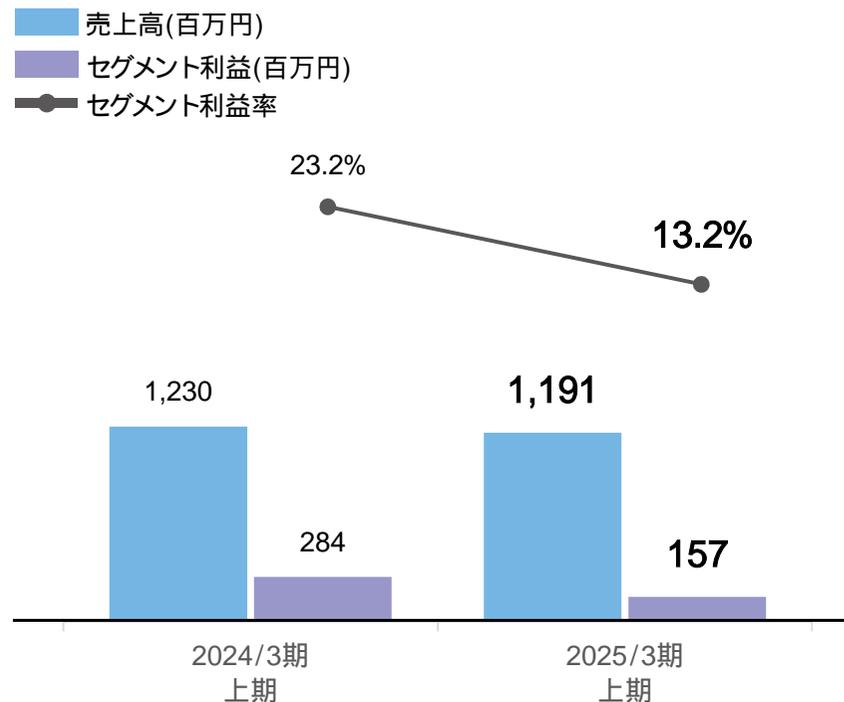
前年同期比増減率	売上高	+15.4%
	セグメント利益	+36.4%



国内子会社

自動車生産停滞の影響で切削工具関係の受注が振るわず、減収減益

前年同期比増減率	売上高	3.1%
	セグメント利益	44.7%

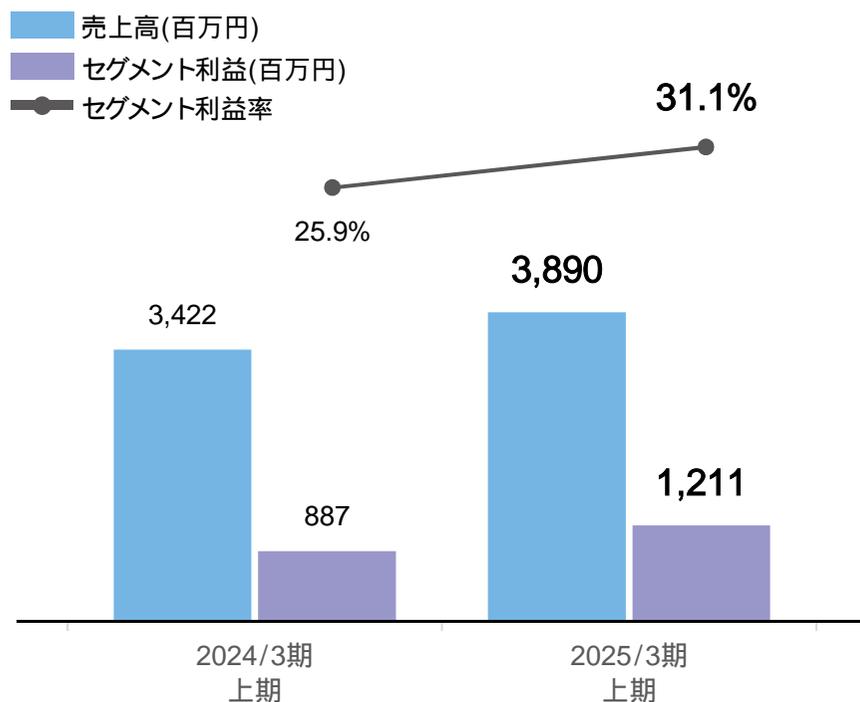


第2四半期連結決算 セグメント別

海外子会社

半導体関連を中心とする売上伸長のほか、円安の影響も加わり、増収増益

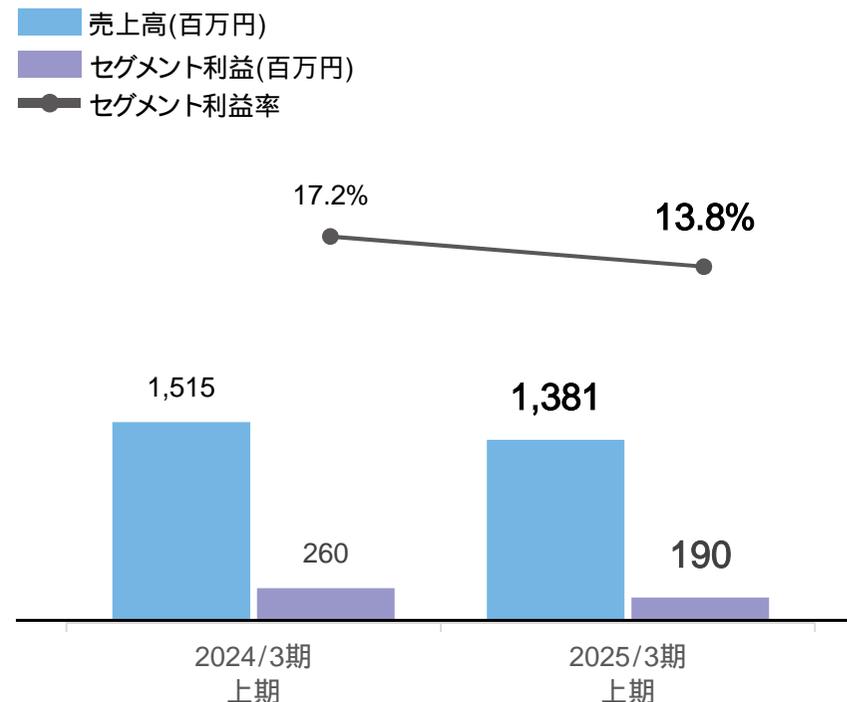
前年同期比増減率	売上高	+13.7%
	セグメント利益	+36.5%



その他表面処理加工

顧客の在庫調整により農業機械部品向けの受注が減少し、減収減益

前年同期比増減率	売上高	8.9%
	セグメント利益	26.7%



セグメント情報

- 溶射加工(単体) および海外子会社は、半導体関連を中心とする売上伸長により利益が大幅増
- 国内子会社およびその他表面処理加工は、それぞれ主力品の受注が減少し利益率低下

(百万円)	2024/3期 上期		2025/3期 上期		前年同期比増減			
					売上高		セグメント利益	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	金額	率	金額	率
溶射加工(単体)	16,748	3,171	19,325	4,324	2,577	15.4%	1,153	36.4%
国内子会社	1,230	284	1,191	157	38	-3.1%	127	-44.7%
海外子会社	3,422	887	3,890	1,211	467	13.7%	323	36.5%
その他表面処理加工	1,515	260	1,381	190	134	-8.9%	69	-26.7%
合 計	22,917	4,604	25,789	5,884	2,872	12.5%	1,279	27.8%

(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

財政状態

- 総資産は、前期末比2億円の減少（現金及び預金： 31億円、固定資産： + 27億円）
- 自己資本比率は、前期末比3.6ポイント上昇の74.8%
- 有利子負債は、前期末比4億円の減少

(百万円)	2024/3期		2025/3期
	2Q末	4Q末	2Q末
総資産	75,226	77,940	77,687
自己資本	54,186	55,460	58,072
自己資本比率	72.0%	71.2%	74.8%
有利子負債残高	2,358	5,002	4,582

キャッシュ・フローの状況

- 当期のフリーキャッシュ・フロー（営業CF + 投資CF）は 7億円
- 投資CF / 有形固定資産の取得

	前期：	16億円	当期：	28億円
買収・株式取得	前期：		当期：	12億円（寺田工作所、タイ完全子会社化）
- 財務CF / 配当金の支払額

	前期：	16億円	当期：	16億円
自己株式の取得	前期：	14億円	当期：	

（百万円）	2024/3期 上期	2025/3期 上期
営業キャッシュ・フロー	4,422	2,696
投資キャッシュ・フロー	1,294	3,404
財務キャッシュ・フロー	3,803	2,546
現金及び現金同等物の期末残高	18,995	16,594



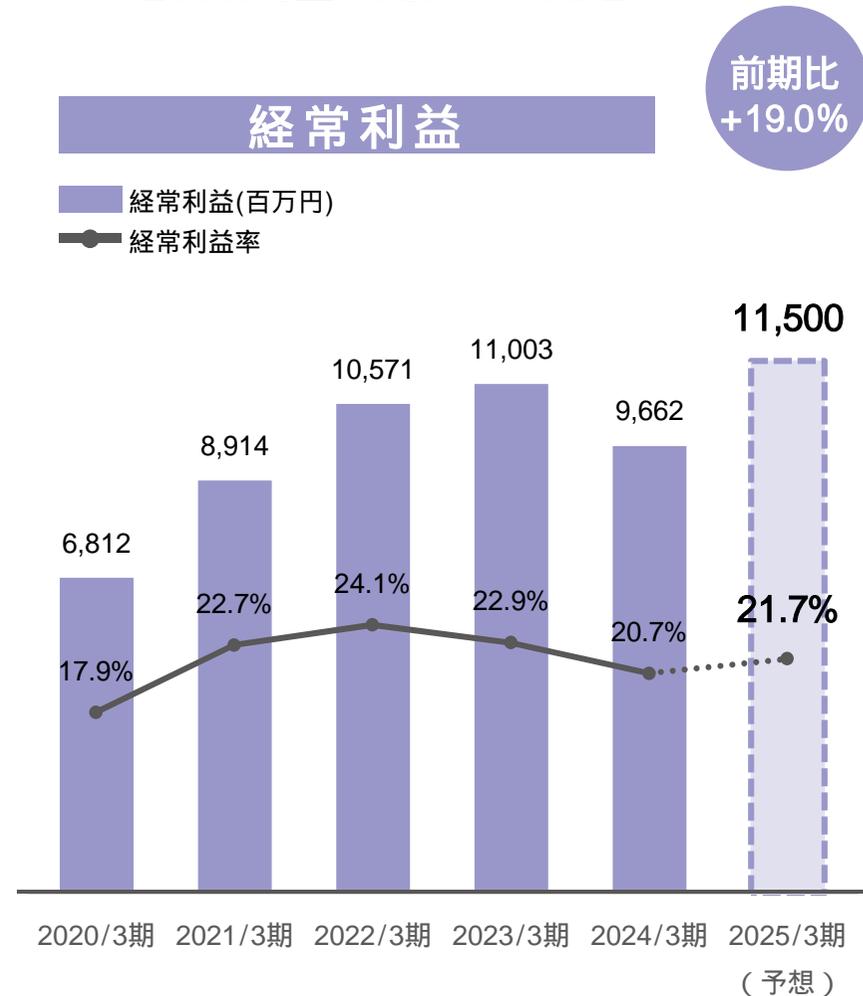
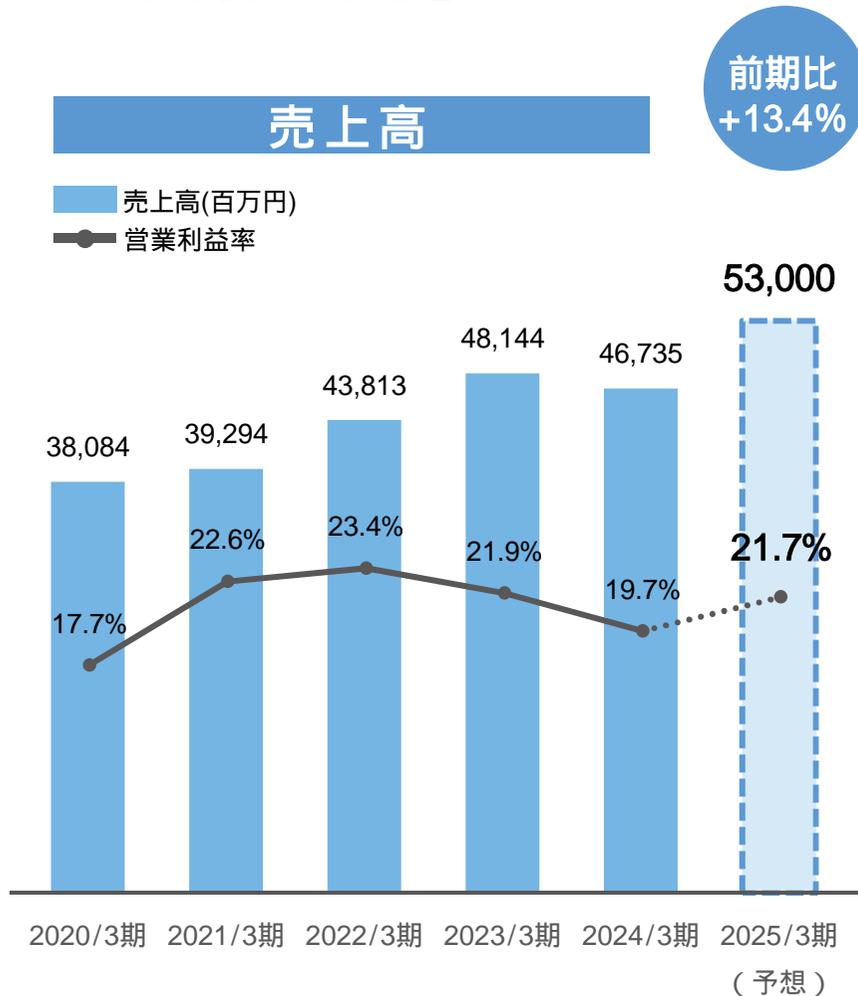
2. 2025年3月期 連結業績予想

売上高と経常利益の見通し

【2024年5月9日発表の業績予想を修正】

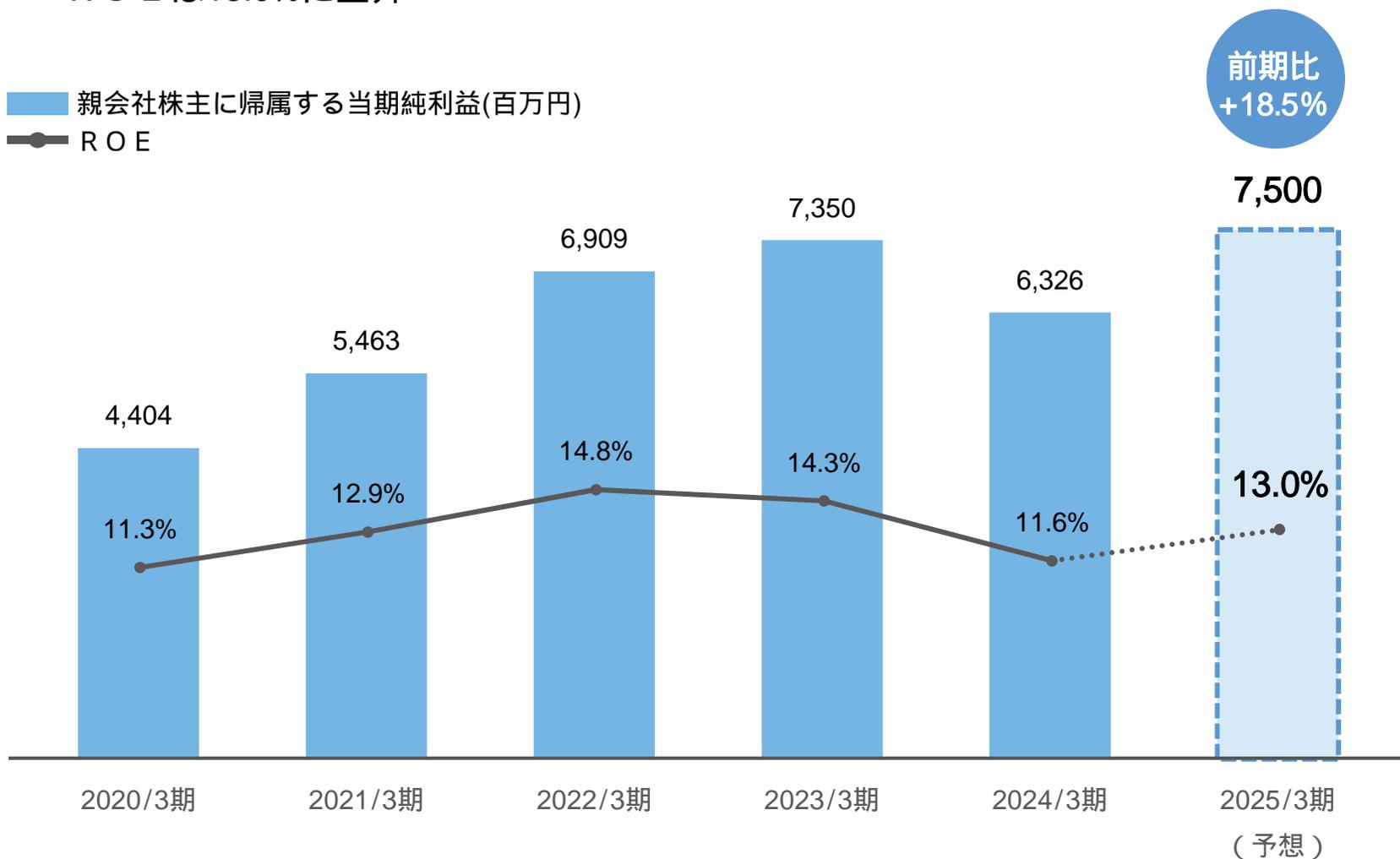
POINT 半導体関連を中心に
好調な受注が見込まれる

POINT 経常利益は半導体分野の復調などにより
過去最高益を更新する見通し



親会社株主に帰属する当期純利益と R O E の見通し

POINT 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比18.5%増
R O E は13.0%に上昇



2025年3月期 連結業績予想 (修正の概要)

(百万円)	2025/3期 通期				5月発表予想比増減	
	5月発表予想	構成比	今回修正予想	構成比	金額	率
売上高	51,000	100.0%	53,000	100.0%	2,000	3.9%
溶射加工(単体)	37,632	73.8%	38,315	72.3%	682	1.8%
半導体・FPD	23,005	45.1%	23,795	44.9%	790	3.4%
産業機械	4,603	9.0%	4,640	8.8%	37	0.8%
鉄鋼	4,037	7.9%	3,950	7.5%	87	-2.2%
その他	5,987	11.8%	5,930	11.1%	57	-1.0%
その他表面処理加工	2,738	5.4%	2,760	5.2%	22	0.8%
国内子会社	2,708	5.3%	2,775	5.2%	67	2.5%
海外子会社	7,771	15.2%	9,000	17.0%	1,229	15.8%
受取ロイヤリティー等	150	0.3%	150	0.3%	0	-0.1%
営業利益	10,500	20.6%	11,500	21.7%	1,000	9.5%
経常利益	10,500	20.6%	11,500	21.7%	1,000	9.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,880	13.5%	7,500	14.2%	620	9.0%
1株当たり当期純利益 (EPS)	115.75円	—	126.16円	—	10.41円	—
自己資本利益率 (ROE)	12.0%	—	13.0%	—	1.0pt	—

2025年3月期 連結業績予想 (前期実績比)

(百万円)	2024/3期 通期		2025/3期 通期		前期実績比増減	
	実績	構成比	修正予想	構成比	金額	率
売上高	46,735	100.0%	53,000	100.0%	6,264	13.4%
溶射加工(単体)	33,859	72.4%	38,315	72.3%	4,455	13.2%
半導体・F P D	19,557	41.8%	23,795	44.9%	4,237	21.7%
産業機械	4,923	10.5%	4,640	8.8%	283	-5.8%
鉄鋼	3,651	7.8%	3,950	7.5%	298	8.2%
その他	5,727	12.3%	5,930	11.1%	202	3.5%
その他表面処理加工	3,019	6.5%	2,760	5.2%	259	-8.6%
国内子会社	2,457	5.3%	2,775	5.2%	317	12.9%
海外子会社	7,257	15.5%	9,000	17.0%	1,742	24.0%
受取ロイヤリティー等	141	0.3%	150	0.3%	8	5.7%
営業利益	9,197	19.7%	11,500	21.7%	2,302	25.0%
経常利益	9,662	20.7%	11,500	21.7%	1,837	19.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,326	13.5%	7,500	14.2%	1,173	18.5%
1株当たり当期純利益 (EPS)	105.53円	—	126.16円	—	20.63円	—
自己資本利益率 (ROE)	11.6%	—	13.0%	—	1.4pt	—

2025年3月期 第2四半期 進捗率

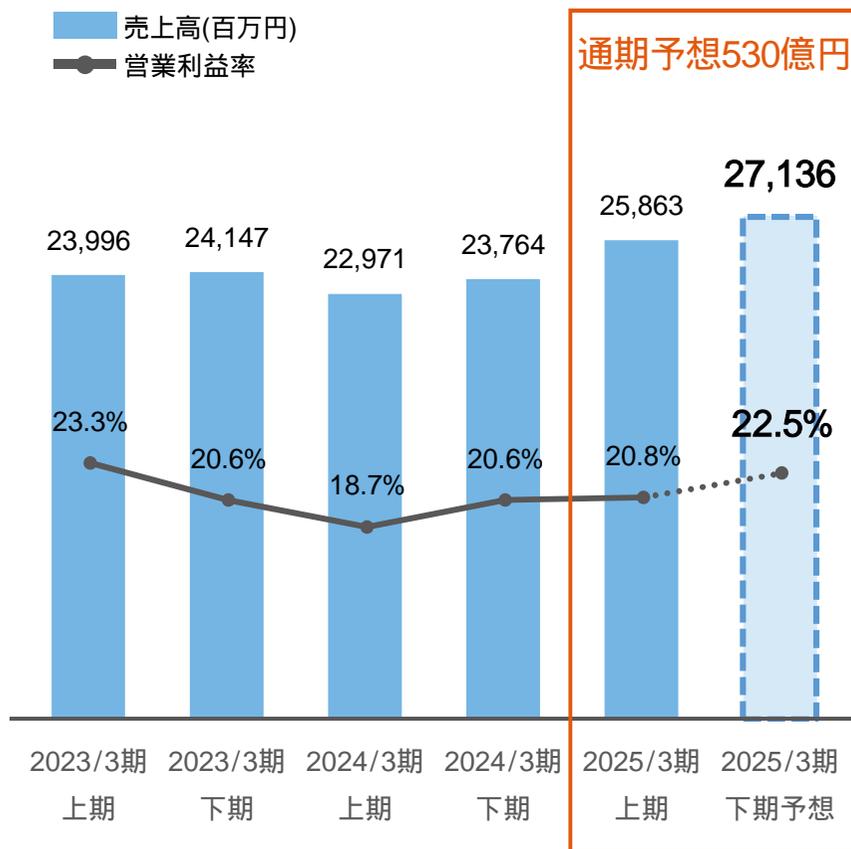
(百万円)	2025/3期 上期		2025/3期 通期		上期実績 進捗率
	実績	構成比	修正予想	構成比	
売上高	25,863	100.0%	53,000	100.0%	48.8%
溶射加工(単体)	19,325	74.7%	38,315	72.3%	50.4%
半導体・FPD	11,395	44.1%	23,795	44.9%	47.9%
産業機械	2,370	9.2%	4,640	8.8%	51.1%
鉄鋼	2,029	7.8%	3,950	7.5%	51.4%
その他	3,530	13.6%	5,930	11.1%	59.5%
その他表面処理加工	1,381	5.4%	2,760	5.2%	50.1%
国内子会社	1,191	4.6%	2,775	5.2%	42.9%
海外子会社	3,890	15.0%	9,000	17.0%	43.2%
受取ロイヤリティー等	73	0.3%	150	0.3%	49.1%
営業利益	5,383	20.8%	11,500	21.7%	46.8%
経常利益	5,520	21.3%	11,500	21.7%	48.0%
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	3,556	13.8%	7,500	14.2%	47.4%
1株当たり当期(中間)純利益 (EPS)	59.83円	—	126.16円	—	47.4%

2025年3月期 下期予想

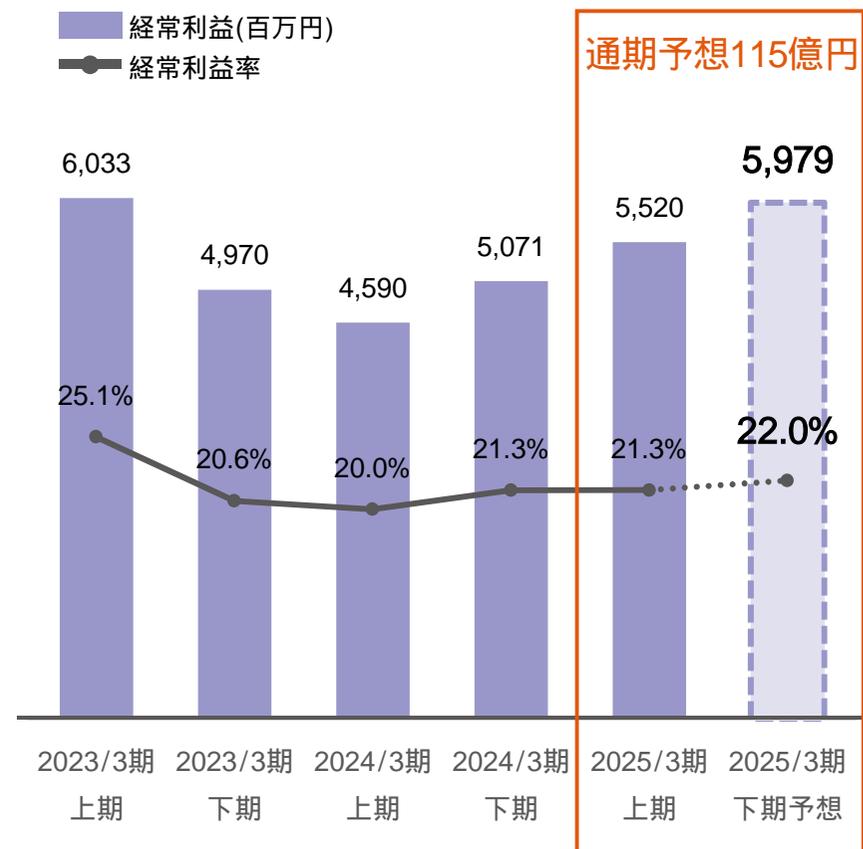
POINT 下期も半導体関連を中心に
さらに好調な受注が見込まれる

POINT 下期の経常利益は、半期ベースで
過去最高だった60億円に迫る

売上高 (半期)



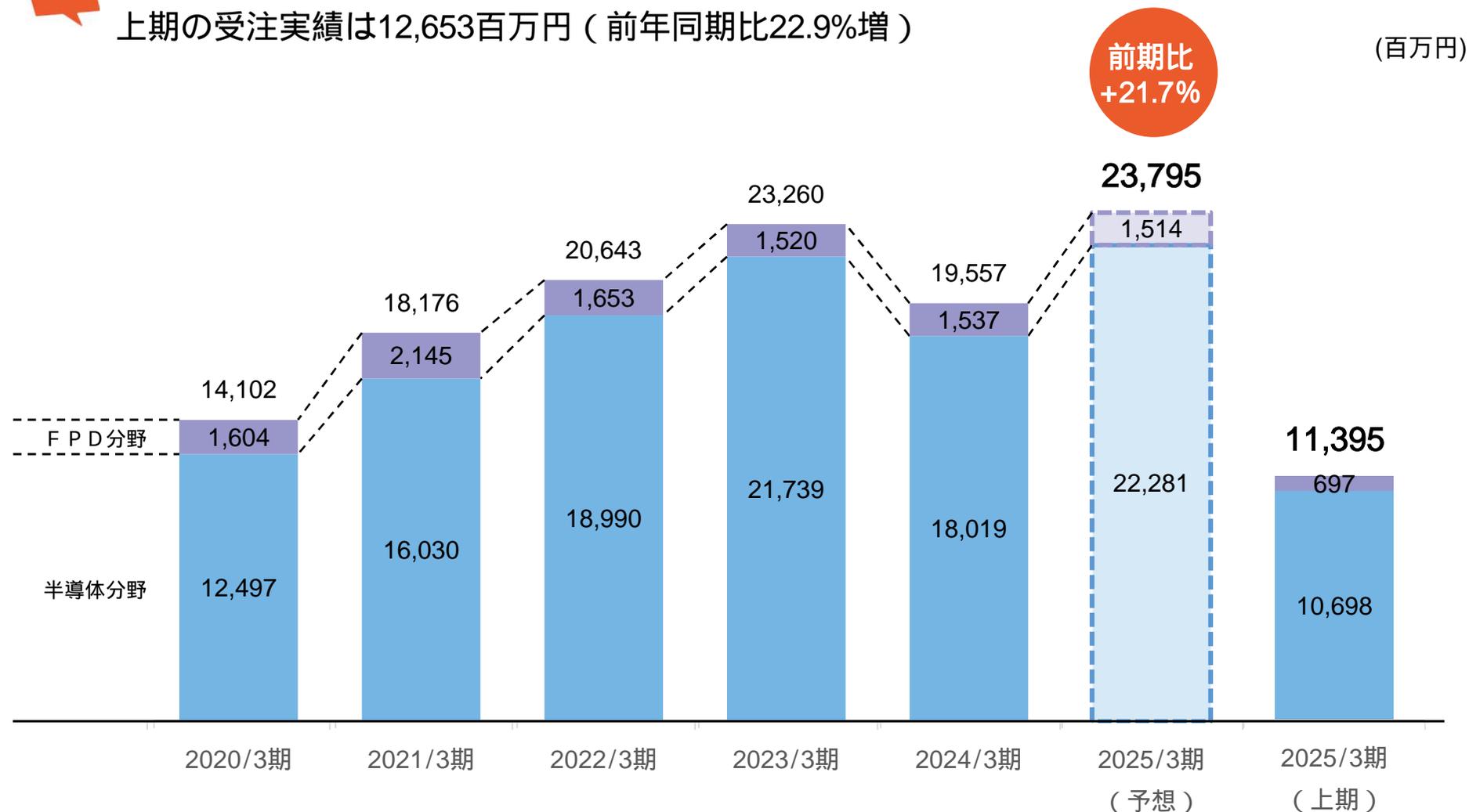
経常利益 (半期)



半導体・FPD分野の売上推移



半導体分野の在庫調整が一巡し受注が復調する
 上期の受注実績は12,653百万円（前年同期比22.9%増）

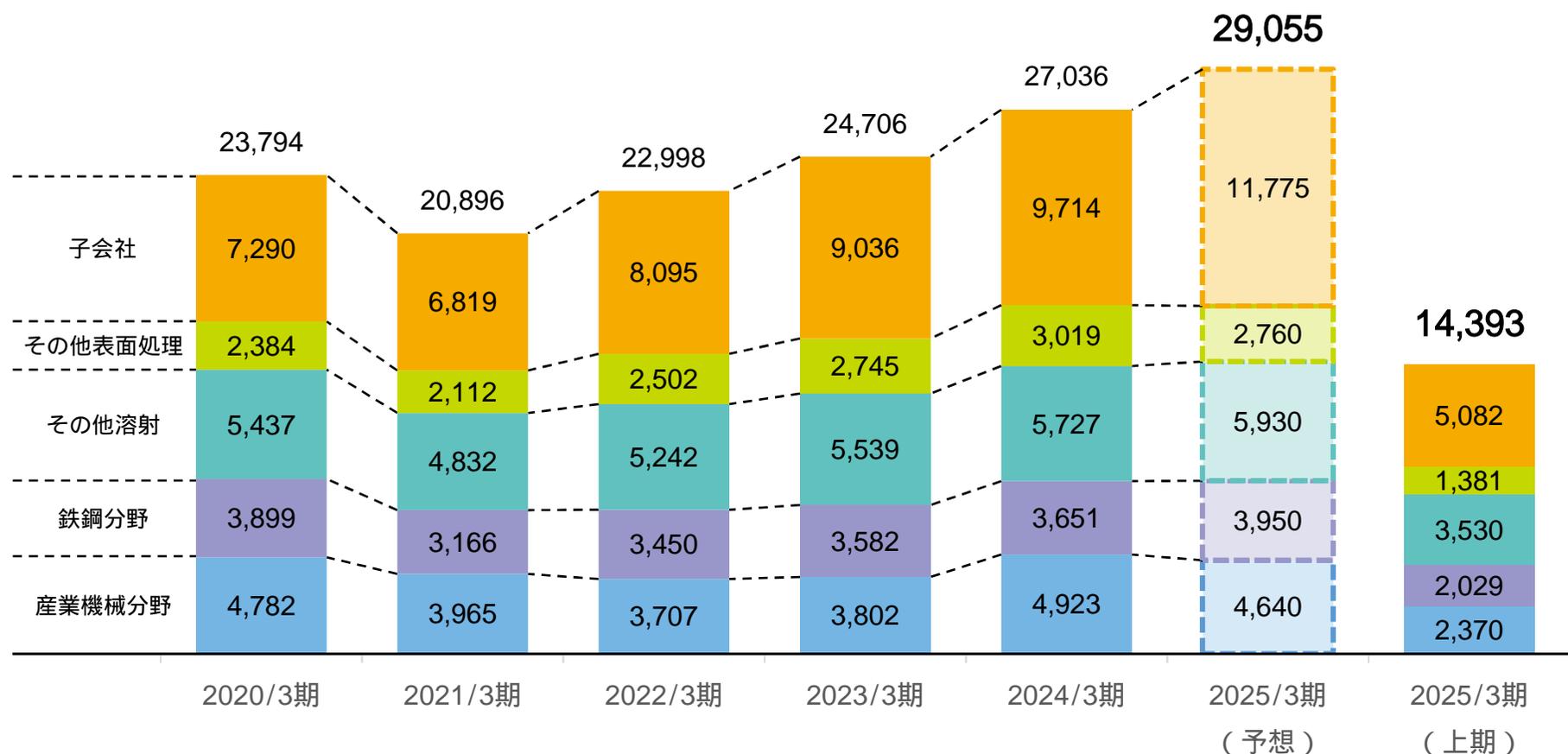


半導体・F P D分野以外の売上推移

POINT 半導体・F P D分野以外の売上高は前期比7.5%増を見込む
子会社が半導体関連を中心に大きく伸長する見通し

前期比
+7.5%

(百万円)



(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

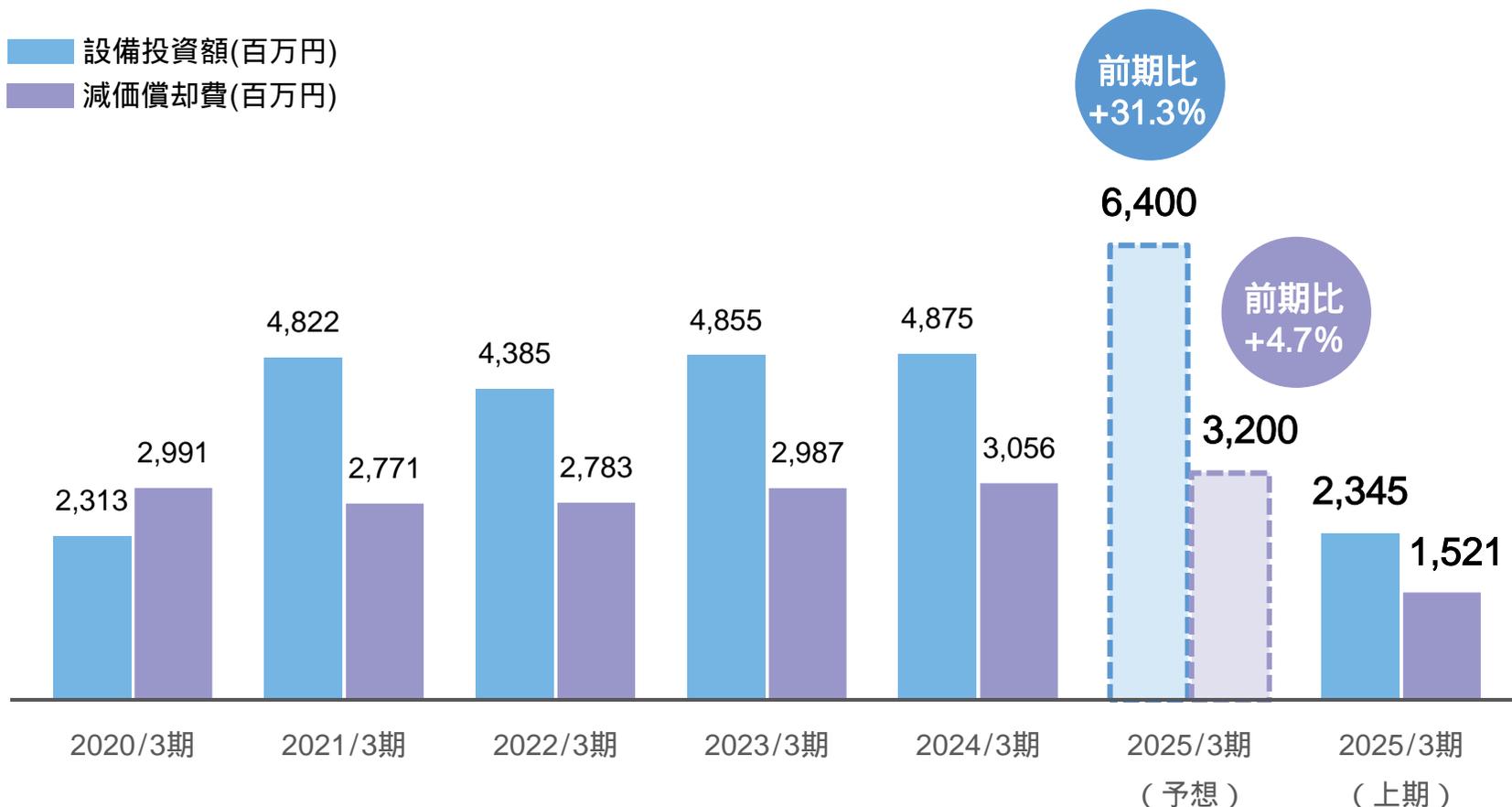
設備投資額と減価償却費

POINT

2025年3月期の設備投資予定額 64億円

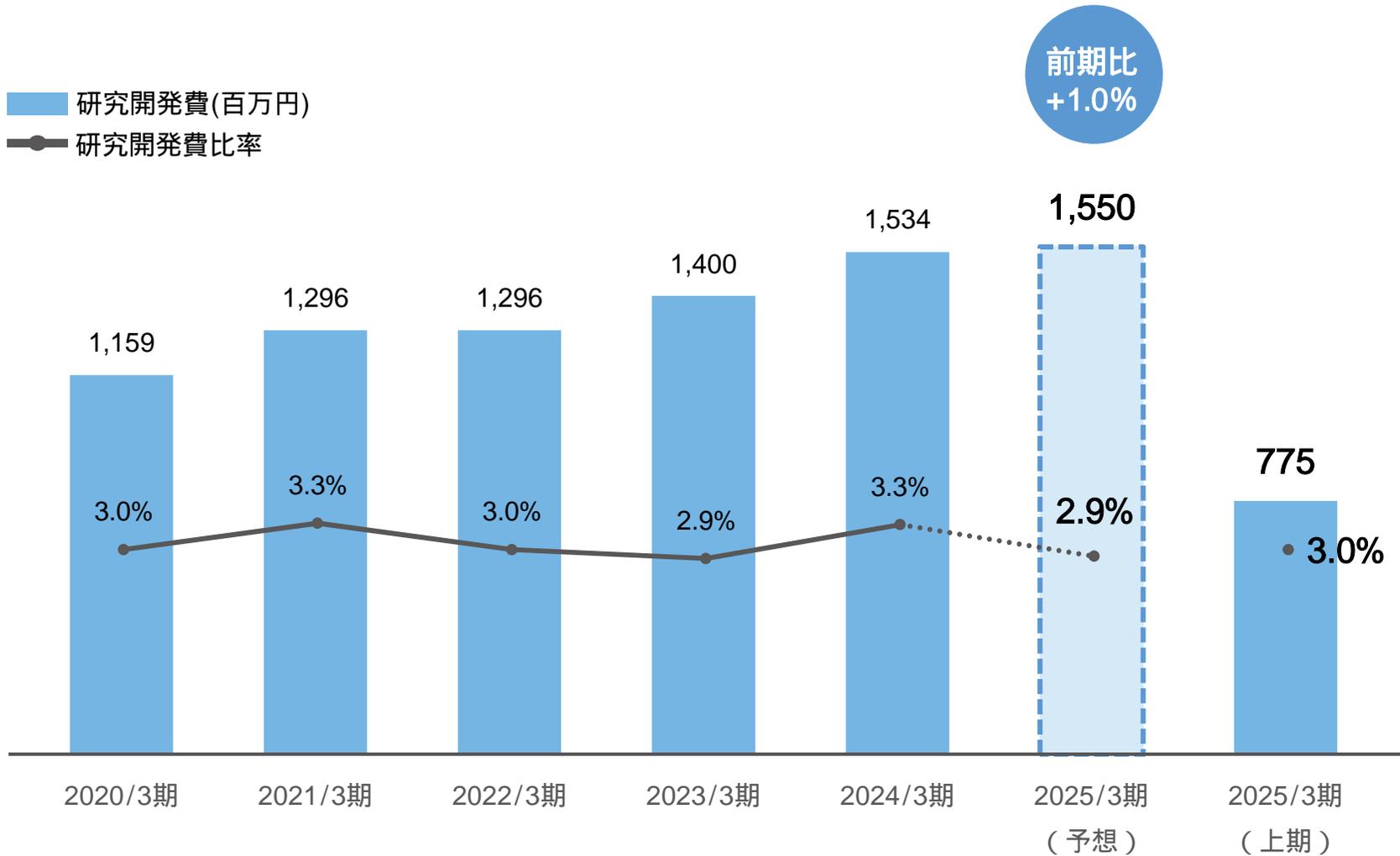
- トーカロ 50億円：神戸工場新棟建設、増産対応・生産効率化、研究設備増強など
- 国内子会社 4億円：生産能力増強など
- 海外子会社 10億円：東賀隆(昆山)・漢泰国際電子(台湾)での新工場立ち上げなど

■ 設備投資額(百万円)
■ 減価償却費(百万円)



研究開発費

POINT 研究開発費は連結売上高比で3%程度を維持



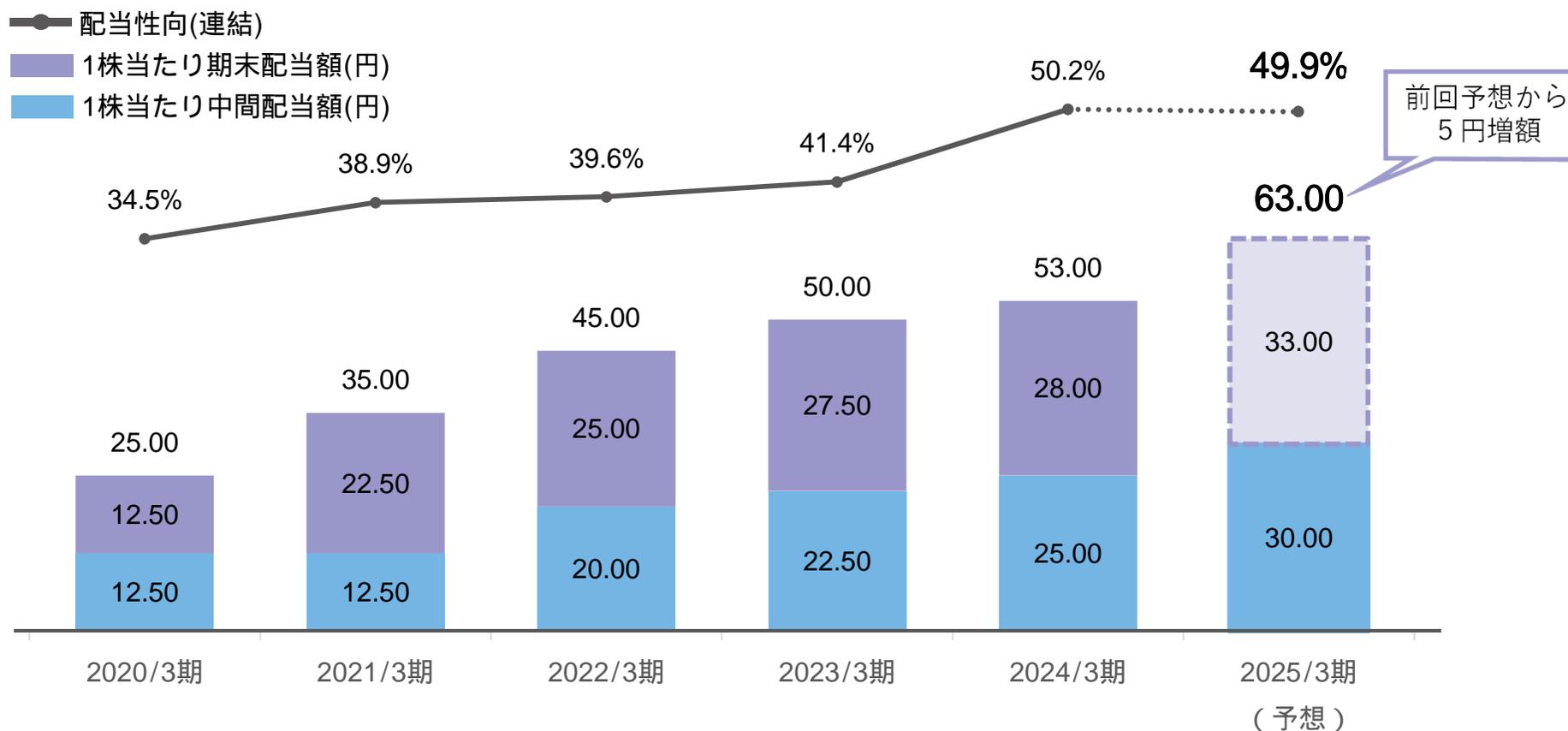
1株当たり配当額と配当性向の推移

POINT

2025年3月期の年間配当は、前回予想から5円増額の63円(配当性向49.9%)を予定

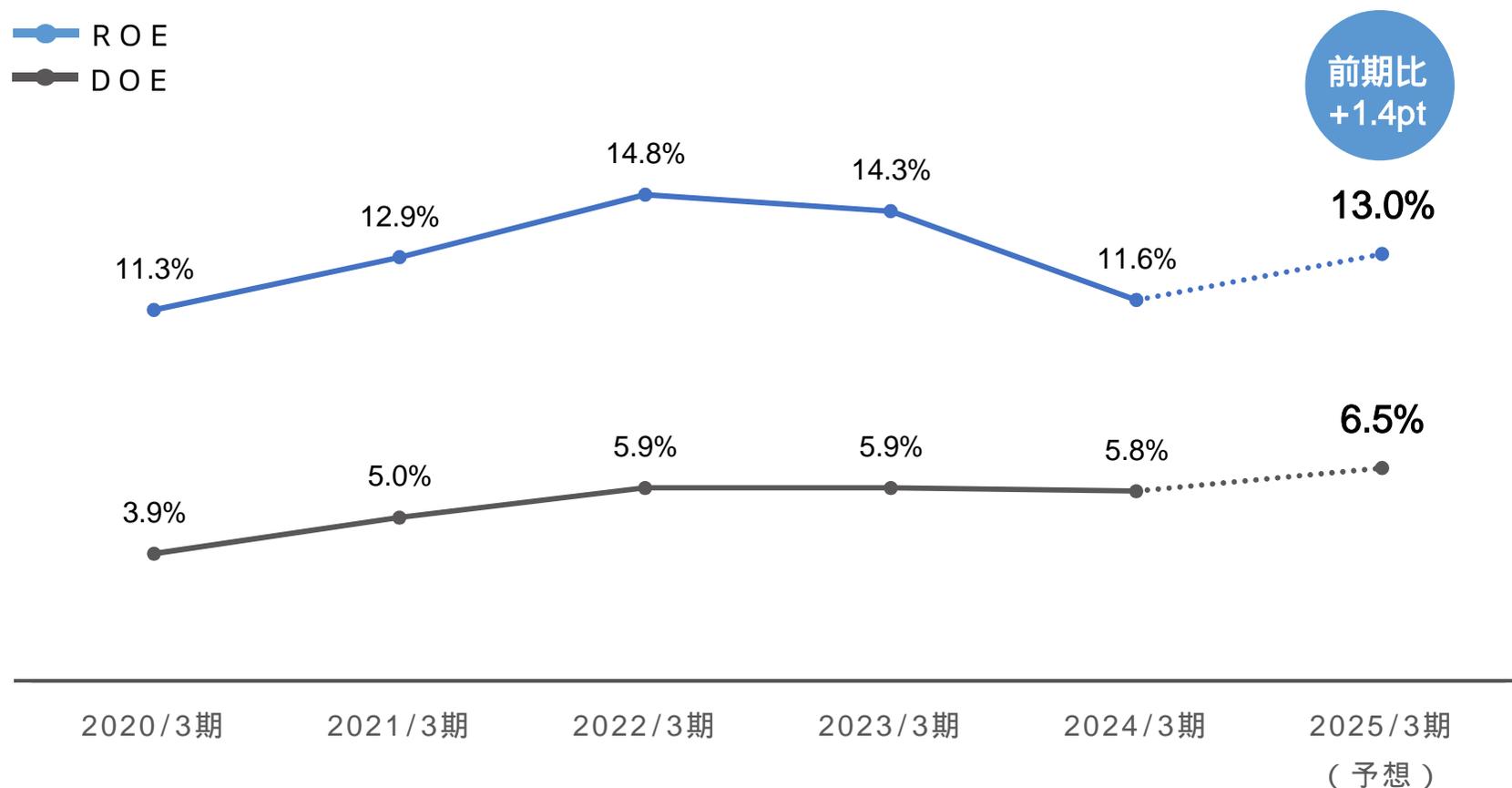
株主還元方針

- 連結配当性向50%程度および純資産配当率(DOE)5%以上を目標とする
- 自己株式の取得も、事業環境や財務状況などを考慮しつつ機動的に実施



ROEとDOEの推移

POINT ROE (自己資本利益率) の改善に伴い、DOE (純資産配当率) は6.5%となる見込み



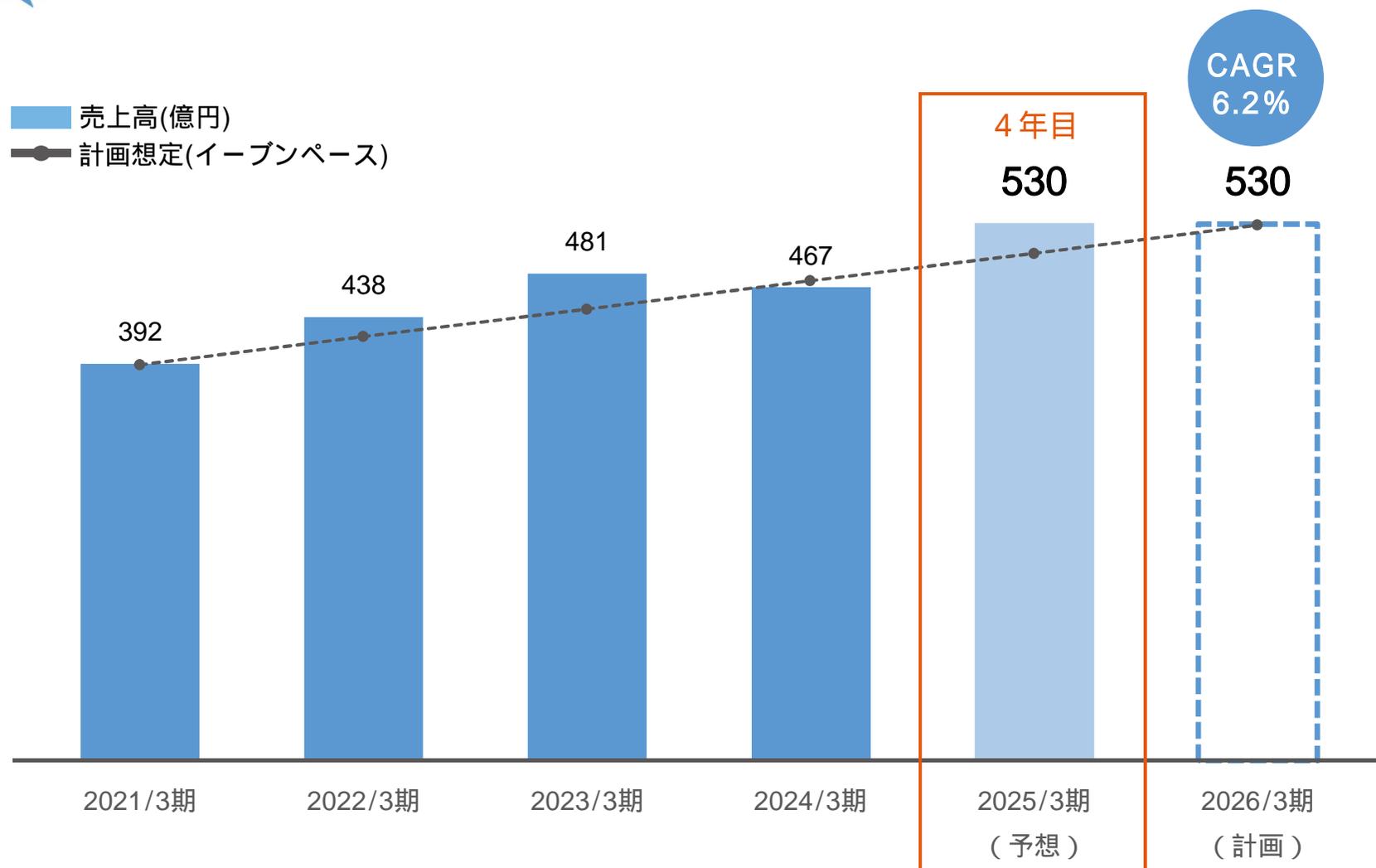
ROE (自己資本利益率) = 当期純利益 / 期中平均自己資本

DOE (純資産配当率) = 1株当たり配当金 / 期中平均1株当たり純資産 (= ROE × 配当性向)

3. 中期経営計画の進捗状況

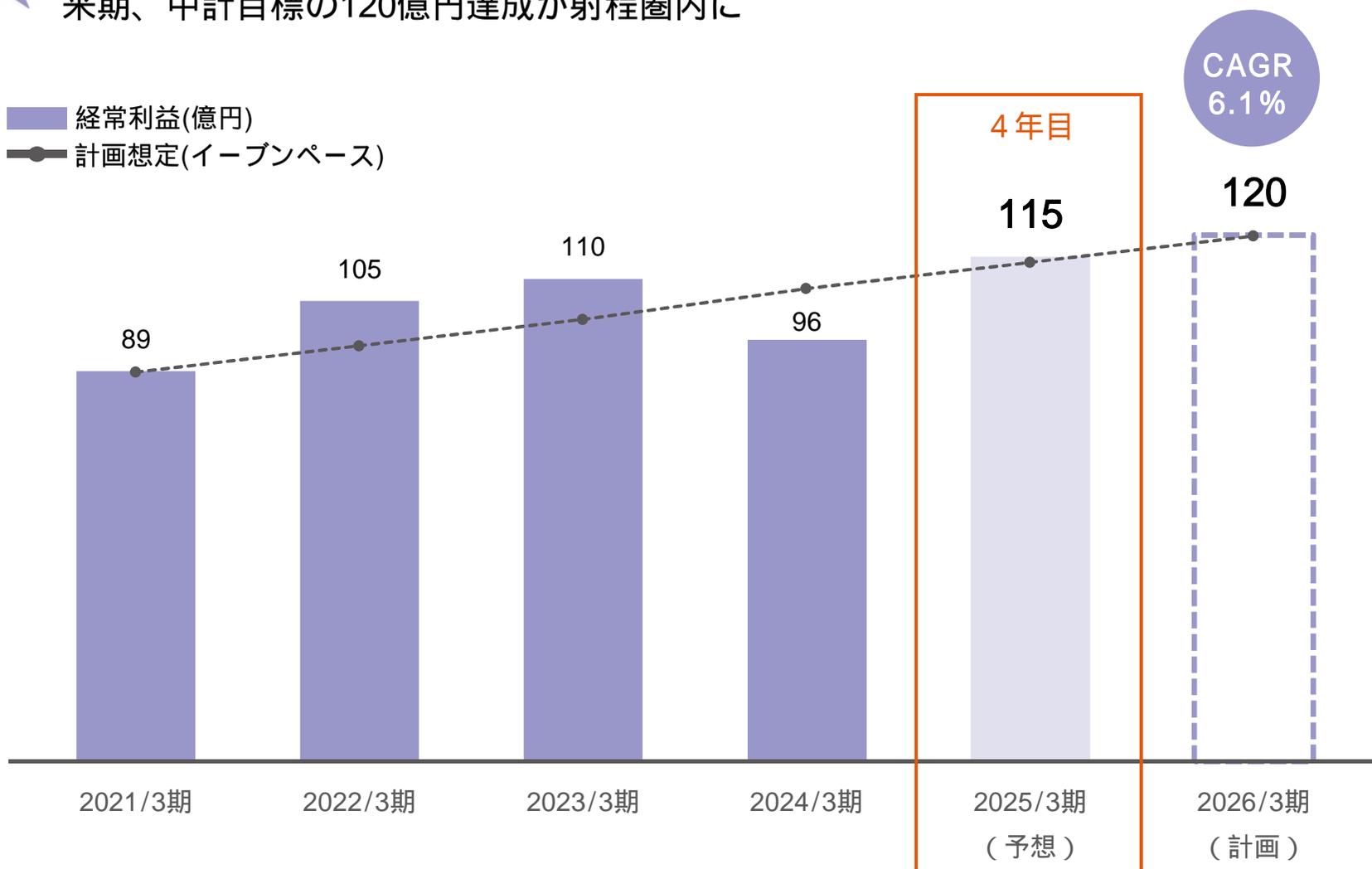
中期経営計画 (売上高) の進捗状況

POINT 2025年3月期の売上高は、中計目標530億円を1年前倒しで達成すると予想



中期経営計画 (経常利益) の進捗状況

POINT 2025年3月期の経常利益予想は、計画どおりの水準まで回復
来期、中計目標の120億円達成が射程圏内に



4.トピックス

タイ合弁会社を完全子会社化



新社名：TOCALO Surface Technology (Thailand) Co., Ltd.

- 2012年10月、ナイスグループ (溶接関連事業) と合弁会社 NEIS & TOCALO (Thailand) を設立し、タイの溶射加工市場 (鉄鋼、産業機械分野) に参入
- 2024年6月、ナイスグループが保有する株式 (51%) を追加取得し完全子会社化
経営資源を溶射加工事業に集中し業容拡大を図る
- 2024年7月、商号変更および7千万タイバーツ (約3億円) の増資を実施
- 現在、新工場建設中 (2024年8月着工、2025年10月竣工、2026年2月稼働)

直近期の経営成績

	2023年12月期
純資産	158百万THB
総資産	170百万THB
売上高	79百万THB
営業利益	3百万THB
経常利益	3百万THB
当期純利益	2百万THB

1THB (タイバーツ) = 約4.5円



(株)寺田工作所の全株式を取得

- 2024年8月、寺田工作所 (機械加工事業) の全株式を取得し子会社化
- 寺田工作所は、多様な素材を用いて精密部品を製造することのできる優れた機械加工技術を持つ
- 当社の表面改質技術と組み合わせることで、お客様への提供価値の更なる向上が見込める
- 今後、人財交流をスタートし、技術協力 (溶射前後の機械加工など) や素材製作などを検討

直近期の経営成績

	2023年7月期
純資産	469百万円
総資産	806百万円
売上高	408百万円
営業利益	92百万円
経常利益	107百万円
当期純利益	78百万円



初めての統合報告書を発行

当社初の統合報告書を10月31日に発行しました。

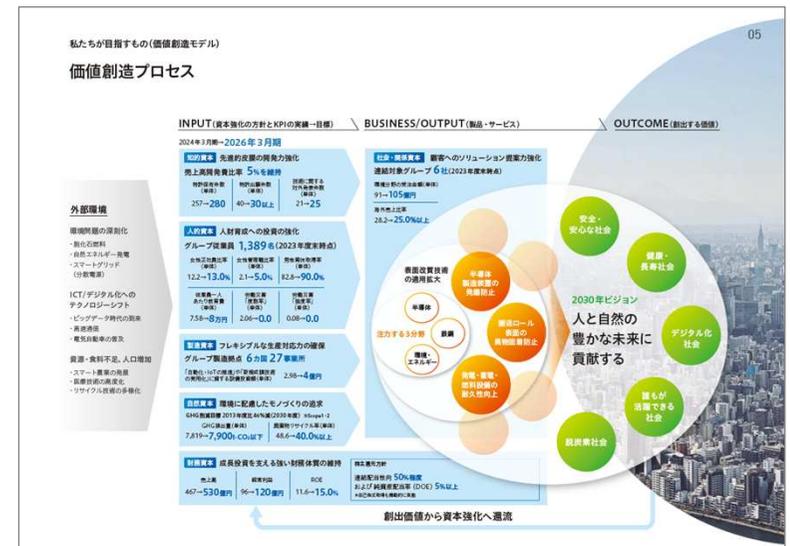
当社は、非財務資本（人財、知財、製造設備、環境対応など）を強化・活用して、より良い製品・サービスを生み出します。このプロセスを通じて当社の持続的成長を実現するとともに、「人と自然の豊かな未来に貢献する」ことを目指しており、その取り組み状況を掲載しました。

社長メッセージ



「人の顔が見える」モノづくりを通じて強い意思と実行力のある人財が育ち、次なる成長ステージに挑戦できるグループへ

トーカロ株式会社
代表取締役 社長執行役員
小林 和也



経営指標ハイライト

(百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 実績	2025/3期 予想
受注高	38,011	39,021	45,394	48,419	47,505	—
受注残高	6,195	6,143	7,896	8,349	9,260	—
売上高	38,084	39,294	43,813	48,144	46,735	53,000
営業利益	6,727	8,890	10,255	10,558	9,197	11,500
経常利益	6,812	8,914	10,571	11,003	9,662	11,500
経常利益率	17.9%	22.7%	24.1%	22.9%	20.7%	21.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,404	5,463	6,909	7,350	6,326	7,500
1株当たり当期純利益 (EPS)	72.45円	89.86円	113.62円	120.83円	105.53円	126.16円
総資産	61,122	64,183	69,517	74,263	77,940	83,600
自己資本	40,263	44,201	49,099	53,839	55,460	60,200
自己資本比率	65.9%	68.9%	70.6%	72.5%	71.2%	72.0%
自己資本利益率 (ROE)	11.3%	12.9%	14.8%	14.3%	11.6%	13.0%
総資産経常利益率 (ROA)	11.5%	14.2%	15.8%	15.3%	12.7%	14.2%
投下資本利益率 (ROIC)	9.8%	11.9%	13.0%	12.5%	10.2%	11.9%

(注) ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均自己資本、ROA = 経常利益 ÷ 期中平均総資産、ROIC = 税引後営業利益 ÷ 期中平均投下資本

売上高及び営業利益は、2022/3期の表示方法の変更（「受取ロイヤリティー等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更）を反映した組替え後の数値です。

注意事項

本資料における将来に関する記述は、発表日現在、当社が入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後のさまざまな要因により、実際の業績等はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

トーカロ株式会社

経営企画部

TEL: 078-303-3433 (代)